

うどん県・香川に伝わるまさかの風習

暖かい春の陽ざしがじ地よく感じる季節となりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

畠の近くではモクレンの花が上向きに美しい咲いています。足元ではテントウムシがのそのそ。(じんにく)畠でほんじにくにちがく「一トビ」が成長しています。
植物や生き物が「おおぞら」に動きを増して、私たちも元気になりますね。

春は、入学、新規会員登録(じんき)がはじまります。足元ではテントウムシがのそのそ。家を新築した際の新しいお風呂(ふろ)に年長者(おおじやうしゃ)が入り、湯舟(ゆふな)でうどんを食べる不思議な習慣(くわいじゆ)のこと。「中風(なかかぜ)」が太く生きられるようになる願いが込められています。引いたがしてまた日の夕方、うどんの準備(ほじょう)をしてきたお父さん(おとうさん)がバスタオルを持って登浴場(とうよくじょう)へ。

お風呂(ゆふな)に入り、うどんを食つたお父さん(おとうさん)と娘(むすめ)たち。いや食べはじめると、朝までの光景(みやうけい)に子供たちは大笑い! 「いいじ、おもしろまるー!」
お父(おとう)さんと子供が聞くと、「おしい」とお父(おとう)さんはお父(おとう)さんと娘(むすめ)たち。これまで長生きできるわー」とお父(おとう)さんはお父(おとう)さんと娘(むすめ)たち。お父(おとう)さんの節目の日にうどんを食べると、お父(おとう)さんと娘(むすめ)たちがお父(おとう)さんと一緒にうどんを食べて、家族(かぞく)が笑顔(えがお)で集まること、楽しい思い出になります。

みなさまが暮(ぐれ)や暮(ぐれ)に際にはお風呂(じゆろ)でうどんを試してみてください。どうぞ、アツアツのおうどんを手(て)に運んでください。

白川農場の台所アヤメ

ごはんを炊いて『簡単ガーリックライス』のレシピ
ませるだけ♪

(材料)

- ・お米 2合
- ・バター 10g
- ・パセリ 1/2
- ・焼き肉のタレ(お好み味)
- ・塩こしょう(少々)



「おひこの芽(め)」
販売(はんばい)はまだよきません。
であります。おひこの芽(め)を伸びてきまして。

作り方は簡単! お米2合をいつも通り炊いて、火をあがす間にさしこみにくずし油(オイル)、バター、塩こしょうを入れて炒めます。お茶(おちゃ)によそしてたら完成!



スタッフ吉本

にんにく農家だより 元気令和2年4月

日暮がなると火田(ひだ)は
テントウムシが

畠の近くに咲くモクレン。白い花が春を感じさせます。



みなさまが暮(ぐれ)や暮(ぐれ)に際にはお風呂(じゆろ)でうどんを試してみてください。どうぞ、アツアツのおうどんを手(て)に運んでください。